

## インターバンクの声（2015 年 12 月 25 日）

クリスマス・イブの東京市場では、ドル円が株式市場のオープン前から121円台に戻すような動きを見せていたが、日経平均の上げ幅が縮小するにもなって円買いが進んでしまった。ロンドン勢が参入し始めた頃には120円30銭台に達していたこともあって、10月後半以来2ヵ月ぶりの119円台突入もありかと思われたが、どうにか120円20銭台で下げ止まってくれた。クリスマス・イブともなれば、運悪く出社となったニューヨーク勢もただデスクに座っているだけで昼過ぎには帰宅する人がほとんどだが、近年はロンドン勢も似たような勤務体制のようだ。要するにロンドンの昼過ぎ以降は市場も閑散とし、主要通貨ペアのプライスですら数銭開きになってしまっただけは事実上休場のようなものだ。東京時間も居直ってゆっくり構えれば良いのだろうが、こうした日柄でも、どうしても約定しなければならない売買が飛び込むこともあるのが厄介だ。クリスマスにプレゼントならぬ大きな損失を掴まされてはたまらない。今日のような日はとにかく何事もなく過ごすことが一番だ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。